



## “Program Update”

### 飛行試験の状況 ～飛行試験機 2号機が初飛行～

5/31(火)、飛行試験機 2号機が初飛行しました。赤いラインが特徴の 2号機は、午前 10 時 04 分に名古屋空港を離陸して太平洋上空 27,500ft(約 8,400m)へ向かい、最高速度 250kt(約 460 km/h)にて、基本的な飛行特性を確認する、約 130 分間のフライトを実施しました。

初飛行中の2号機

2号機は今後、機体の性能確認を目的とし、飛行試験を重ねていきます。  
1号機は約 1 か月の計画改修を終えて 5/13(金)から飛行試験を再開しており、  
2機体制となった飛行試験では、これから複数回/日のフライトも実施していく計画です。  
MRJ 開発は順調に進捗しています。

MRJ は、本格的な飛行試験を米国で実施することとしており、国内で試験を積み重ねたのち、  
7 月末以降に米国・ワシントン州へ向けて出発することを目指しています。



at Chubu Centrair

### 中部国際空港へ初飛来

5/24(火)、主要 7 か国首脳会議 (G7 伊勢志摩サミット) 開催に合わせて愛知県が企画した先進技術の PR 展示に協力し、中部国際空港(セントレア)へ 2 泊 3 日のショートトリップを行いました。

MRJ が、拠点を置く県営名古屋空港以外に着陸するのはこれが初めてです。

MRJ のホームタウン・愛知県の国際空港であるセントレアは、各国首脳が空の玄関として利用しました。

要人や多くのファンにその勇姿を披露しただけでなく、給油などの地上オペレーションを実践しました。

### RAA Annual Convention 2016

(5/9-11)三菱航空機と米国三菱航空機は、ノースカロライナ州シャーロットで開かれた RAA(Regional Airline Association)の年次総会へブース出展し、開発に関する記者会見・モックアップ展示を行いました。会見では試験機開発の順調な進捗に加え、北米での飛行試験計画の説明を行い、その中で、試験の開始を前倒し、今夏にもワシントン州モーゼスレイクへのフェリーフライトを行いたいとの意欲を示しました。トレーラーに積載し北米各地を訪れてきたモックアップ展示は、RAA 会場でも話題となり、多くの訪問者に機内の快適性を体感頂くとともに、客室の評価や MRJ に期待する多くの声を頂戴しました。



“Hot Topic”

### ISTAT Asia

(5/18)三菱航空機は、航空機リース会社、金融機関を中心とする国際団体/ISTAT が東京で開催した大規模なカ



ンファレンスにおいて、MRJ 単独のプレゼンテーション枠を与えられ、MRJ プロジェクトの現状、マーケット環境、投資価値等をアピールしました。社長の森本は「MRJ は日本製の航空機ですが、プロジェクト展開及びマーケティング活動はグローバルです。先日 LOI を締結したリース会社、Aerolease 社に続き、世界のリース会社の皆様にその価値を認めて頂けるものと確信します」とメッセージ。また、経済成長に伴って航空需要の大きな伸びが見込まれるアジアでは、MRJ は 70 席以下のターボプロップ機と、150 席以上のナローボディ機の間機種としてその需要に的確に応えることをプレゼンテーションしました。ISTAT は世界各地で同様のカンファレンスを主催しており、東京では 3 年に 1 度の開催。昨今の日本の金融機関の活発な活動を反映して約 700 名の参加登録のあった大イベントで、MRJ の価値を内外のリース会社・金融機関に大きくアピールする機会となりました。

ISTAT = International Society of Transport Aircraft Trading